

さくら

編集・発行 2018年5月31日
神河中学校 PTA文化・研修部



「新年度を迎えて」

神河中学校PTA会長 山名 真由美

本年度PTA会長をさせていただきました山名真由美です。まだ二か月しか経っていないですが、今までたくさんの方々にお世話になっていたんだという事を実感している毎日です。子供たちが当たり前の生活を送るのに、たくさんの方が動いて下さっていることがあらためてわかり、役員にならなかつたら考える事なく過ぎていたので、いい経験をさせていただいているんだなと感じています。

長男が3年生になりましたので、神河中学校にお世話になり3年目になるのですが私自身が中学生の時は、ちょうど校内暴力が問題になっており、私の通ってる学校も荒れていきましたので 最初神河中学校の生徒を見て、真面目な生徒が多くおだやかな生活を送っていてびっくりした事を覚えています。中学生ですから、いろいろあるとは思いますが、自分の時との違いに感心し、いい学校だなと思っています。

今年は、次男も入学し三男もいますので、まだまだ中学校にはお世話になります。会長として関わっていく事に不安もありますが、子供たちが有意義な中学校生活を送れるよう、お手伝いできたらと思っております。
一年間よろしくお願ひいたします。



「今を大切に」

神河中学校長 楠田 敏彦

子育てについて、誠に恐縮ですが自分自身のことを書きたいと思います。

私には3人の子どもがいます。長女・長男・次男という構成です。今はもうみんな成長して独り立ちしています。長女は加古川で教師、長男は東京でサラリーマン、次男は神戸で公務員をしており、社会の一員として皆元気に働いています。そんな子どもたちですが、15年前を思い起こすと、長女は中3、長男は小6、次男は小3でした。長女はテニス部に所属し、沢山の部員の中でなかなかレギュラー（団体戦のメンバー）になれず、でも、こつこつ努力を重ねて日々練習していました。「応援の応援になるから試合には来ん」といて。」と、きつく言われていたし、私自身の部活動と重なるので、娘のテニスの試合を見にいった記憶はありません。今から思うと、もっと時間をつくって個人戦の応援にいってやれば良かったと思います。

長男と次男はというと、丁度その頃子供会のソフトボールがあり、私の部活動のない日はほとんどその練習に付き合わされていました。うちは村が小さく低学年から参加しておりキャッチボールもまともにできない弱小チームで、ソフトの練習をしているのやら鬼ごっこをしているのやらよくわからない状態でした。しかし、子どもたちは上手とか下手とか関係なく、結構楽しんでやっていました。GWとともに前半は私の部活動での試合、後半は子どものソフトボールの練習、おまけに夜は、消防で操法の練習があるといったスケジュールで、くたくたでふらふらになっていた記憶があります。こんなことがまだ3年も続くのかと思うとぞっとしていました。でもね、今振り返ってみるとあの頃が一番充実していました。子どもともいっぱい触れ合っていたし、いっぱい喋っていたし、いっぱいキャッチボールもしろい、とても濃密な時間を過ごしていました。

何が言いたいかというと、神河中学校の保護者の皆様も今正にそのような時間をお過ごされているのかなと思います。子育て中は大変なことが多いですが、その分充実していて、親子の絆や親同士の絆が深かったように思います。そんなことは言わなくても分かっているよと言われそうですが、今を大切に親子のふれあいを大切に、親同士の団結を大切に、子どもはすぐに成長し巣立ってしまいます。今しか関わることのできない子育ての期間を大切にして下さい。応援しています。

「新年度を迎えて」

文化・研修部部長 黒田 友見子

私は新年度の始まりの気持ちが好きです。どんな1年間にしようか、もっと成長した自分になるぞ、とワクワクした思いを持つことができるからです。この度、役員をさせていただくことになり、どういう形で子ども達を支えていくことができるのか、そんな思いも加わった新年度でした。

きっと入学、進級した生徒の皆さんにもそんなやる気や期待の思いがあったのではないかでしょうか。新年度を迎え、約1ヶ月がたちました。新生活に慣れ、それぞれの学年や部活、個人で頑張っていることだと思います。すべてが順調に期待通りに進むことばかりではなく、つまずいたり、苦労したり、努力を要することも多々ある中ですが、我が子や生徒達を見ていると、3年間という短い中学校生活の中、子ども達は、大きく成長するものだと日々感じています。成長という点では、思春期を迎え、客観的な視線に向けて親や先生に対して批判的だったり、自立心が芽生えて干渉を嫌うようになるわりに、勝手な部分は依存してきたりと、かかわりも難しくなり親としては我慢の時期であるとも感じています。手や目は離しても心は離さず、子ども達の成長を支えていきたいものです。

先生方や役員の方と共に子ども達が充実した中学校生活を送れるよう、微力ながらサポートしていきたいと思います。1年間、どうぞよろしくお願ひ致します。



「新年度を迎えて」

体育・補導部部長 小坂 由紀

入学から1ヶ月が過ぎ、子も親も新生活に少しづつ慣れてきたところです。我家の長男は、神河中1期生で中3の時に統合を経験しました。私は自分の子どもが中3の時での統合だけは避けてほしい。と勝手な考えを持っていました。しかし、息子は新しい友達がたくさん増え、中学校最後の1年をとても楽しく過ごしていました。旧大河内中、旧神崎中、神河中の3種類の制服、体操服を着ている生徒が混在する真新しい校舎での生活は、あっという間に終わりました。先日、久しぶりに校舎に足を踏み入れると、校舎のいたる所に7年の歴史を感じました。

長女が今年から神河中にお世話になることになり、それと同時に私もPTA本部役員の体育・補導部部長をさせていただくことになりました。まだPTA活動の事が何もわからない私が、引き受けていいものかとすごく悩みましたが、せっかくいただいたチャンスなので、今年1年子どもと共に色々な事を学び、経験していくと思います。1年間よろしくお願ひいたします。



新年度を迎えて

1学年主任 中安 圭三

思春期は第二の誕生と言われます。それは大人になるための産みの苦しみが始まるときです。大人になるとは「これこそ私の人生だ」という進路を自分で決定し、それに責任を持てるようになることだと思います。4月10日に入学した第10回生も、少し大人になった気分を味わいながら、めまぐるしく過ぎていく日々に戸惑いながらも、一生懸命に頑張っています。これから自分の得意や苦手が分かってき

たり、人と比較することを覚えたり、成績が伸び悩むことがあったりと、「うまくいかないのでは?」という壁に当たることが出てくると思います。そんなときこそ、子どもの「自己肯定感」や「自己有用感」を育む手助けをしてやることが大切です。今がうまくいかない状況であったとしても、これまでの道筋で「楽しいと思ったこと」「うれしかった経験」を話す中で、子どもの個性が見えてきます。その個性を言葉にして認めてやることが大切です。例えば「部活の試合には出られなくても、ベンチではすごく頼りにされているんだね。」「気配りのできる人ってチームには必要だよね。」などといったことです。挫折感を味わっている子どもも、個性を認められることで「肯定的な自分」に気づくことができます。「自己肯定感」を高められた子どもは次に、ではどうしたら「自分を活かす」ことができるかを考えられるようになります。色々な場面で、自分が「役立っている」という経験を得られれば、子どもは「自分は集団や社会で役に立つ人間である」という「自己有用感」を感じ、また次の行動や目標に向かうことができます。

こうして糸余曲折しながらも、目標を追い続ける自発的な意欲が育まれていくと思います。この意欲こそ、将来や進路を切り拓いていくために必要な力です。子ども達が意欲を持って、「自分が自分であって大丈夫」と安心して生活できるように、神河中学校の教育に、ご理解ご協力をよろしくお願いします。



学習面で頑張ること

3年生になって
(生徒の決意)

苦手なところを克服して、テストで良い点数をとり、順位を上げたいです。



生活面で頑張ること

3年生になり、日々の1つ1つの授業がとても大切になってくると思います。だからこの一年はケガなくカゼもひかないようにしたいです。具体的には、早く寝て早く起きたり、一日三食をきっちり食べたりすることです。テストが近くなったりすると、夜遅くまで勉強したりしてしまうので、そこもしっかりとし、絶対1回も休まず登校します。



運動面・部活動面で頑張ること

自分の限界を高く決めて、一球一球考えて打つ。最後の大会で、もっと頑張っておけば良かったと後悔しないように、毎日の練習を大切にする。また自分のことだけでなく、二年生や新しく入ってきた一年生など、後輩のことも気にかけられるように周りに気を配りたい。



2年生女子

2年生になって1年生を支えなければならないし、たくさんの仕事がある3年生も支えなければならないかもしれません。一番困るのは先輩になったことです。戸惑うこともあります、悪いことは「悪い」と叱られる先輩になりたいです。ただ優しいだけの先輩じゃなくて、注意したりできる先輩になりたいです。後輩に尊敬されるように頑張ります。先輩の支えにもなりたいです。部活を仕切っている先輩は、たくさんの仕事があります。その先輩を少しでも助けたり、役に立ちたいです。生活面では、勉強を頑張りたいです。2年生になると、1年生の復習もテストに出ると聞いたので、勉強を頑張りたいと思います。1年生の時は、怠けてしまうことがあったので、今年はしっかり計画を立てます。そして、友達もたくさん作りたいと思います。新しいクラスになって、まだ友達になれてない子もいるので、たくさんの子と友達になりたいです。目標は、自分からどんどんチャレンジすることです。今年は、たくさんの人を楽しませるために、三送会など頑張ろうと思います。また、1年生の手本になるよう大きな声で挨拶していきたいです。やらなければならぬ事は、最後まで全力でやりたいです。課題などを全力でやったあの爽快感が、すごく気持ちいいからです。今年は友達を作ったり、部活を盛り上げたり、楽しい1年にしたいです。

2年生になって



1年生女子

中学生になって 1年生

中学生になってから、毎日はとても楽しいです。ちがう学校の子もたくさんいて、おもしろいです。中学校は教科がたくさんあって、とても重くて肩が痛いし、小学校より厳しくて、朝の挨拶、帰りの挨拶、行動するときなど5分前には教室に入っておくこと、返事をすること、言葉遣いなどたくさんの事を意識して生活しないといけません。

でも、私は毎日笑顔で生活したいと思います。それと、学習も難しくなるので、しっかり勉強して、みんなについていけるように頑張ります。給食の時は、いっぱいしゃべれて面白いです。いつもと違う生活なので、ちょっとの間は慣れないことが多い大変だと思うけど頑張りたいです。まだまだ初めてのことばかりで、不安なこともいっぱいあるけど、1つ1つできることを増やして、ちょっとずつ中学校の生活に慣れてきたいと思います。



1年生 学年 レクリエーション



フラフープくぐり



台風の目



跳び箱乗り

生徒の感想

(生禄より)



- 今日は本格的に授業が始まりました。テストが返されてすごくショックが大きかったです。そのショックを学年レクが吹き飛ばしてくれました。学年レクはすごく楽しかったです。
- 今日は学年レクをしたり、初めての国語・数学・家庭科・英語があって、すごく楽しい1日でした。特に学年レクは楽しかったし、クラスのみんなが一つになっていたので、すごく面白かったです。楽しい1年になりそうだと思います。また学年レクがしたいです。



2年生 校外学習

5月8日（火）、2年生は「ものづくり体験学習」として、兵庫県立ものづくり大学校で研修しました。産業の礎となるものづくりへの関心を高め、職業としてのものづくりの魅力と奥深さを理解し、6月に実施される「トライやる・ウィーク」への事前学習となりました。

◎体験プログラム

- ①ミニ畳花台
- ②ズボンの裾上げ
- ③フランス料理
- ④紙コップホルダー
- ⑤銅板アート
- ⑥マルチボックス

生徒の感想



「フランス料理はスープが命」と私の班のシェフが言ってくださった言葉がとても心に残っています。スープや素材が少し違うだけで、味は変わることかなと思いました。料理は、手際よくすることが大切だということが分かりました。優先順位を考えないと、とても時間がかかることが分かりました。今日のものづくり体験学習は、フランス料理の基本から時間の大切さなど、普段の学校生活では学べない事も学べて、ほんとうに良かったです。トマトのパスタの料理をやっている時に、「味を確かめて、自分で考えて調味料を足して」と言われました。

普段あまり料理をしない私にとって、とても困りました。自分のせいで塩辛くなったら嫌だなと思って、少しずつそれぞれふりました。食べてみるとトマトの味が濃くて、粉チーズの味がなくなってしまって、あまり美味しくできませんでした。もっと塩を入れておけば、トマト・トマトしてなかったかな、もっとコショウを足しておけば、スパイシーで美味しかったのかと反省中です。今日は料理の、煮る、焼く、混ぜるなど色々なことができて良かったです。また、自分で作ってみたいと思いました。

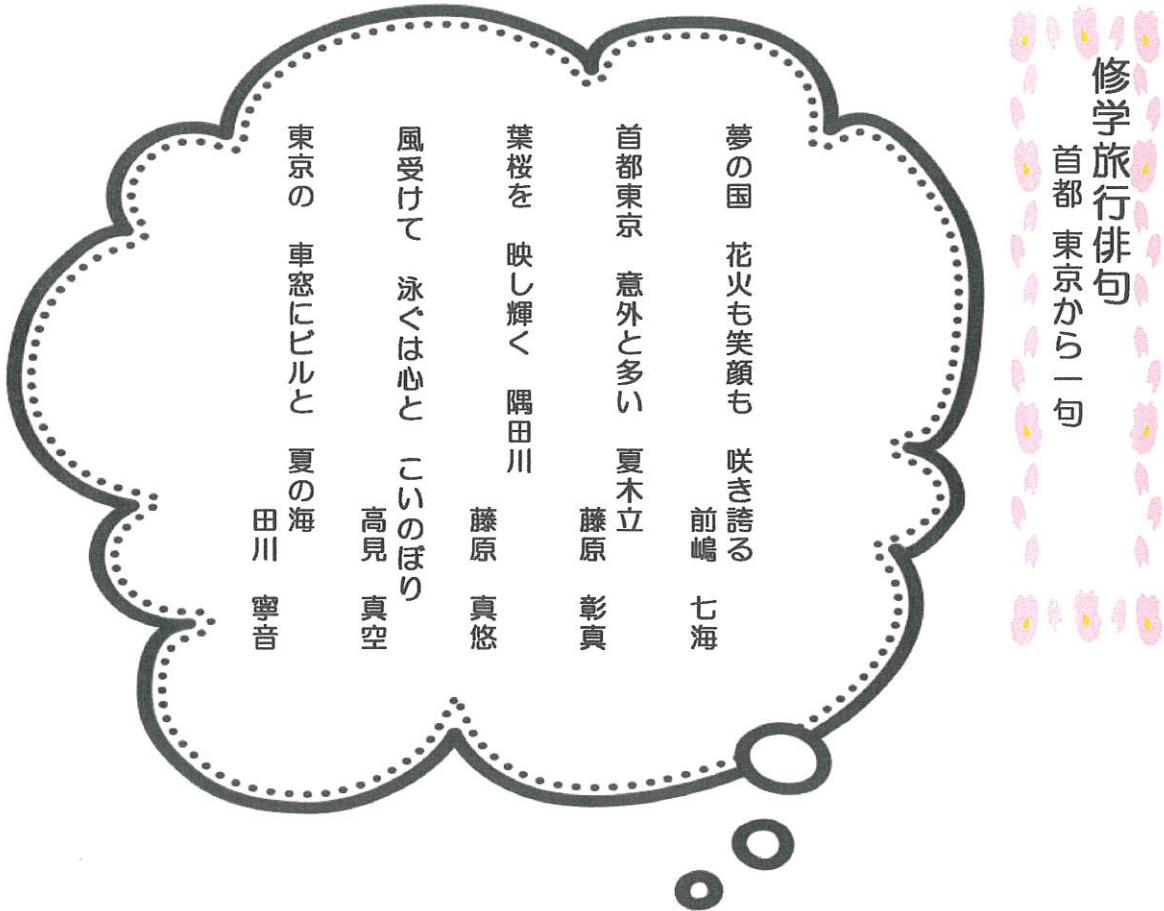
僕は不器用で細かい作業が苦手だけど、このミニ畳花台を作るときに、講師の先生が優しく教えてくださって完成させることができました。

畳の糸を縫うところは最初難しかったけど、途中から楽しくなってきて、ものを作るのはこんなに楽しいことなんだと感じました。このものづくり体験で学んだことを次のトライやる・ウィークでも活かしたいです。畳が完成したとき、とても達成感を味わうことができたので、畳体験をして良かったと思いました。

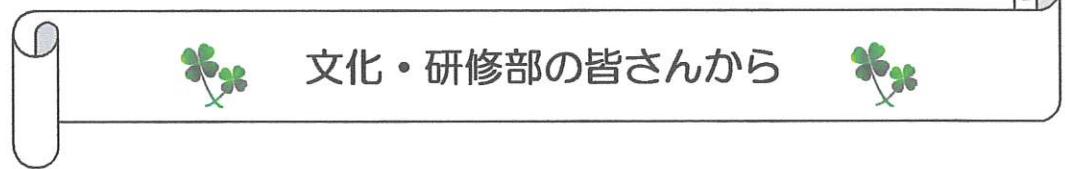
3年生 修学旅行新聞

5月14日（月）～16日（水）まで、3年生は東京・千葉方面に修学旅行に行ってきました。雨を心配していましたが、3日とも好天に恵まれました。2日目は、オリンピアンとの交流」で、アテネ・北京のオリンピック2連覇された谷本歩実さんと交流しました。気さくで楽しい方で、とてもためになる話をしてくださいました。





楽しかった夢の国 また行きたいな このメンバーで・・・



「新年度を迎えて」

田中由香利

新学期、我が家も色々な動きがありました。まず大きな事は、家を新築するにあたり、家族みんなで引っ越しをしました。我が家には3人の娘がいます。長女は心優しく、控えめな子です。体が弱い所もありますが、私の実家の中学校に通う事になりました。長女とはすごく話し合いましたが、自分が行きたい進路を見つけたいので、そちらにと本人の希望で中学校を転校しました。最初は友達が出来るか、学校の環境になじめるか、すごく心配していましたが、友達が出来て毎日朝早く起きて自転車通学をし、こちらの学校にいる時より活発になりました。そんな長女が3年生になり、最近ですが、自分の進路・将来の夢が出来ました。小学の時からボランティアで病院に行って扇舞を披露する事が何度かあり、家に帰ってきて必ず話してくれるのが、病院の作業療法士さんの仕事でした。「私も作業療法士さんの仕事をしてみたい」とずっと言っていました。私や家族は、長女は体が少し弱い子なので「無理、無理」と言っていましたが、転校後、中学に自転車で行くようになったのも少し体を鍛え体を強くしたいと思ったみたいです。高校も、作業療法士さんに近づけるように福祉科のある高校も考えるように目標を持って毎日勉強するようになったそうです。神河町から私の実家は離れていますが、親として応援しています。

次女は、この4月から神河中でお世話になっています。初めての中学校生活では、勉強も部活動や塾やで毎日ハードな感じですが、新しい友達も出来て、部活動も楽しく参加しており、私はほっとしています。何よりも、毎日学校で勉強できる環境はありがたいです。この調子で頑張ってほしいです。

三女ですが、小学4年生になりました。少し身長が伸びました。毎日頑張って学校に行っています。

一年一年大きくなる子供を見て悩む事も多いけれど、時には大きなアドバイスできる親でありたいと思います。





「駆け抜ける青春？」

増田 栄作

我が家が末っ子が、姉二人がお世話になっていた神河中学陸上部に入部させていただけてから3シーズン目になります。

この間、大きな大会ではできるだけ競技場で自分の目で見るようになっていますが、娘にとっては二人して押しかける両親に時に恥ずかしい思いをしているのでしょうか。帰りの車の中で懲然としているのは競技の結果が思わしくなかった時だけでなかろうとは薄々感じておりました。

そんな時はコンビニに立ち寄って、甘いモノを買い一緒に食べることで機嫌をとっている自分は親としても甘いな、と痛感していますが、それ以上の上策を見つけるに至っておりません。

にもかかわらず、私が日焼けして真っ黒になり職場で「病気でもしてるので？」と疑われるまで競技場に行くのは、他でもない、競技に打ち込み懸命に走る、跳ぶ、投げる娘の姿を見たいのと、競技成績を楽しみにしているからです。

娘は3姉妹の3番目で、親の私が見ても典型的な「末っ子気質」をしています。私達にとっては一番長く子供でいてくれている訳ですが、そんな我が子も成長し、懸命に部活に打ち込んでいる姿(ちなみに娘はそう見られることを嫌います。)を見ていると「今、しっかり見ておかないと・・・」と焦りに似た気持ちを覚えるのです。

競技に打ち込むと、当然、怪我をするわけですが、娘も現在、そこそこ痛いところを抱えながら練習しています。本気の競技者には避けることができないことはいえ、怪我のケアをしながら練習している娘を見ていると、痛みをなんとかコントロールしながら、競技生活を全うしてもらいたいと、思わずにはおられません。

幸い、娘は熱心な指導者の方々と良い環境に恵まれて、望外の成績を残してきました。特に幼い頃から一緒に育ってきたチームメイトの皆さんたちと400mリレーで兵庫県大会で優勝できたのは、夢を見ているのかと自分の意識状態を自分で確認したほどです。順調すぎるほど順調な競技生活であったわけですが、相手あっての競技なので、その相手も黙ってはいません。複数回優勝するとその次は目標にされる側になるわけで、今年度最初の県大会決勝で敗退したのは、TV中継もされたので皆さんの知るところとなってしまいました。大きな大会での好成績は、それに越したことはありませんが、娘には悔いのない競技生活を送ってもらいたいと思います。受験も控えた中学3年次ですが、娘は一般的の子供さんがなかなか経験できない経験をさせていただいている。今はそうは感じていないうですが、この素晴らしい日々を、一杯駆け抜けてもらいたいと切に思います。

次回発行は10月5日(金)です!

